

# 桜ヶ池のお櫃納め



よみ	さくらがいけのおひつおさめ
指定	静岡県指定無形民俗文化財
所在地	御前崎市佐倉
所有者	お櫃納め保存会
指定日	昭和61年12月5日

## 解説

平安末期の昔、比叡山延暦寺の高僧・皇円阿闍梨が、56億7千万年後の弥勒菩薩の出世間を待って悟りを開かんがために、龍蛇と化して桜ヶ池に入定し、その後、弟子の法然上人(浄土宗開祖)がこの池に臨み、赤飯をお櫃に詰めて供え、師の法要を営んだのが「お櫃納め」の起源であると伝えられています。

お櫃納めは毎年秋の彼岸の中日(秋分の日)に行われ、池宮神社の氏子青年により構成された遊泳団員により池中に納められます。これに奉仕する団員は、祭日3日前から精進部屋に籠もって諸準備にあたりますが、その間朝夕に精進井戸と前浜において水を浴びて垢離をとるなど厳重な齋戒が今も守られています。